

メンタルヘルスの治療と仕事の両立支援研修
令和8年度産業スタッフ、人事労務担当者向けゲートキーパー研修

職場で気づくメンタル不調のサイン

—うつ・不安の基礎と早期対応、主治医との連携—

うつや不安といったメンタル不調は、身体症状や行動の変化として職場で見られることがあります。本講義では、精神疾患の基礎的な理解を踏まえ、職場で見逃されやすい変化にどのように気づき、どのように対応し、医療と連携するかという視点から解説します。



講師 広島大学大学院
医系科学研究科・精神神経医科学
教授 **岡田 剛先生**

講師のプロフィール】

1998年に広島大学医学部を卒業。大学病院で臨床研修を行なった後、大学院でうつ病の脳機能画像研究に従事。大学院を卒業後は、大学病院や関連病院での勤務を経て、2011年からは2年間ミシガン大学精神医学講座へ留学し、ストレス関連性精神疾患の病態解明を目指した研究に従事。2013年から広島大学に帰任し、精神科の診療と教育の傍ら、うつ病や双極性障害の病態解明とより有効な診断・治療法の開発を目指した研究に取り組まれています。2025年4月より現職

日時 令和8年7月10日（金）
15：00-16：30

ZOOM研修
定員100名
参加費無料

【対象】 * 人事・労務管理者
* 産業保健スタッフ（産業医、保健師、看護師、衛生管理者等）
* 県市町人事担当職員及び精神保健福祉担当職員等

【申し込み方法】

広島産業保健総合支援センターホームページ

▶ 研修のご案内 <https://www.hiroshimas.johas.go.jp>

広島産保



* 開催前日までに、事務局より研修会の招待メールをお送りします。



【先着順】 締切

7月6日（月）

【主催・お問合せ先】

独立行政法人労働者健康安全機構

広島産業保健総合支援センター 082-224-1361
広島県立総合精神保健福祉センター 082-884-1051